

令和元年度 議会事業取組評価（政策部会所掌分）

政策部会取組事項
<p>1 議会運営の充実又は効率化等の検討</p> <p>(1) 議会運営におけるICT化について</p> <p>(2) 委員協議会資料の提出時期について</p> <p>(3) 一般質問のあり方について</p> <p>2 議員研修の企画及び運営等</p> <p>(1) 議員研修会（前期、後期）の開催</p> <p>3 政策提案、提言等の仕組みの研究、検討</p> <p>(1) 常任委員会委員の任期について</p> <p>4 その他、政策部会の所掌事項に関する検討</p> <p>(1) 議長選挙等の透明性確保のための所信表明のあり方について</p>

1 議会運営の充実又は効率化等の検討	
(1) 議会運営におけるICT化について（前年度継続事業）	
<p style="text-align: center;">実施の概要・成果</p> <p>ア 統一タブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入と運用方法の検討</p> <p>(ア) 統一タブレット端末の活用方法及びペーパーレス会議の進め方について確認。また、統一タブレット端末導入後においても、本会議を含む全ての会議において、個人の電子機器の持ち込み及び使用ができることを確認</p> <p>(イ) 統一タブレット端末及び会議システムの契約締結の完了を受けて、ペーパーレス会議を令和元年9月定例会から実施すること、及び当面は紙資料を併用することを決定</p> <p>(ウ) 令和元年9月定例会からの実施状況について検証を行い、特段の支障はなかったことから、令和2年2月定例会からのペーパーレス会議本格実施を決定</p>	<p style="text-align: center;">課題・今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運用に関する新たな課題や活用方法については、その都度、整理・検討を行い、必要に応じて運用規程及び運用手順書に反映 ・ タブレット端末及びペーパーレス会議システムの現調達契約が令和4年7月で終了するため、遅くとも令和2年度下半期から次期調達内容の検討が必要

- (エ) 全議員を対象に統一タブレット端末等に係る操作研修を令和元年8月に開催。また、導入後の令和元年11月及び令和2年2月にペーパーレス会議システムに係るフォローアップ研修を開催
- イ 運用規程及び運用手順書の検討、整備
 - (ア) 統一タブレット端末等に係る運用規程及び会議システム、グループウェアの利用にあたっての具体的手順等を定めた運用手順書を整備
 - (イ) 令和元年9月定例会からの利用状況等を踏まえ、以下の運用規程の改正を実施
 - ・ 統一タブレット端末へのアプリ追加に係る規定の改正
 - ・ ペーパーレス会議システム、グループウェアの個人端末での利用に係る規定の整備
 - ・ 統一タブレット端末の携帯義務に係る規定の改正
 - (ウ) 会議システムやグループウェアの運用状況について検証を行い、会議システムのフォルダ構成等について運用手順書を改訂

(2) 委員協議会資料の提出時期について（今年度新規事業）

実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>統一タブレット端末の導入により資料配付時期が早まったことを踏まえ、会議資料の配付時期について整理・検討</p> <p>ア 委員協議会資料（議員協議会及び特別委員会における協議・報告事項に係る資料を含む）の提出時期前倒しを理事者に要望することを確認</p> <p>イ 理事者において、令和2年7月から委員協議会資料の提出時期前倒しを決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事者からの回答を受けて、運用手順等の見直しを検討 ・ 理事者に対して必要な資料を要求する仕組みについて検討

(3) 一般質問のあり方について（前年度継続事業）	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>分かりやすい一般質問のあり方等について検討</p> <p>ア 一般質問の形式の検討 個人質問と代表質問のあり方</p> <p>イ 質問時間の配分の検討 無所属議員の質問時間延長や通年計算等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般質問の形式や質問時間等に係る過去の検討経過を踏まえ、部会内で共有したうえで検討

2 議員研修の企画及び運営等	
(1) 議員研修会（前期、後期）の開催（前年度継続事業）	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>議員の政策形成、立案能力の向上を図るため、前期・後期に分けて年2回開催</p> <p>ア 前期議員研修会</p> <p>(ア) 日時 令和元年8月20日(火) 午後1時30分～3時</p> <p>(イ) 講師 信州大学工学部建築学科 准教授 梅干野 成央 氏</p> <p>(ウ) 演題 「旧開智学校校舎の建築的な価値について」</p> <p>(エ) 成果 建築的な視点から見た旧開智学校校舎の価値について、専門的な話を聞くことができ、理解を深めることができた。</p> <p>イ 後期議員研修会</p> <p>(ア) 日時 令和元年11月22日(金) 午前10時～11時30分</p> <p>(イ) 講師 国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所 所長 石田 孝司 氏</p> <p>(ウ) 演題 『流域の暮らしと国土を守る「砂防」』</p> <p>(エ) 成果 全国各地で大規模な水害・土砂災害が発生する中で、砂防事業の重要性について改めて認識することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の開催回数及び時期について検討

3 政策提案、提言等の仕組みの研究、検討

(1) 常任委員会委員の任期について（今年度新規事業）

実施の概要・成果	課題・今後の取組み
政策条例の議員提案も見据え、常任委員の任期を2年にすることについて、検討課題として提起	・ 常任委員会委員の任期に係る過去の検討経過を踏まえ、部会内で共有したうえで検討

4 その他、政策部会の所掌事項に関する検討

(1) 議長選挙等の透明性確保のための所信表明のあり方について（今年度新規事業）

実施の概要・成果	課題・今後の取組み
ア 議長等の所信を市民に周知するための方法について検討 （ア） 所信表明の録画配信 （イ） 所信表明の内容のホームページ等への掲載 イ 議長選挙等の所信表明に対する議員質問の導入について検討	・ 所信表明の録画配信や内容のホームページ・議会だよりへの掲載は、議会の情報発信に関わることから、広報部会の取組事項との整理が必要 ・ 政策部会の所掌事項の範囲内での議長選挙の課題について、改めて整理し、必要に応じて検討

(評価責任者) 政策部会長 青木 崇